

日本一のブランド米をめざして

つや姫だより



第5号

平成30年 9月 7日

庄内総合支庁農業技術普及課

間もなく刈取適期を迎えます！  
適期内刈取りで今年も評価の高いつや姫を！

#### ◇出穂後積算気温からみた刈取適期

- ⇒ 鶴岡アメダス値を使用 出穂期 8/9の場合、刈取りの晩限は9月30日
- ⇒ 狩川アメダス値を使用 出穂期 8/12の場合、刈取りの晩限は10月8日

出穂後の気象は、寒暖差はありましたが気温は平年並、日照時間は登熟後半はやや日照不足で推移しています。

つや姫の刈取適期は、出穂後積算気温で1,000～1,200℃です。刈取適期となり次第、籾水分や青籾歩合をチェックして、なるべく早めの刈取りを心がけましょう。遅くとも出穂後の積算気温で1,200℃までには刈り終わるようにしましょう。

表1 出穂後積算気温による刈取適期（鶴岡アメダス、9/6までは実測値、以降は平年値を使用）

出穂期	9/21	9/23	9/25	9/27	9/29	10/1	10/3	10/5	10/7
8月9日	9/21～ 刈取適期 ～9/30								
8月11日	9/23～ 刈取適期 ～10/3								
8月13日	9/26～ 刈取適期 ～10/6								

☆つや姫の刈取適期は、出穂後積算気温で1,000～1,200℃です。

☆刈り始めの目安は、青籾歩合15%、籾水分25%以下です。

☆総籾数が少ない圃場では、他の圃場よりも早く登熟が進むことが予想されます。刈り遅れると薄茶米や胴割粒の増加により品質の低下が懸念されます。表1を参考に、刈り遅れないようにしましょう。

#### ◇生育と登熟状況

作柄診断圃（鶴岡市上清水）では、平年に比べ、穂数はやや多く、一穂籾数はやや少なく、 $m^2$ 当たり籾数は並です。また、登熟は平年より進んでいます（表2）。

表2 作柄診断圃（鶴岡市上清水）の生育・登熟状況

年次	出穂期 (月日)	葉数 (枚)	穂数 (本/㎡)	1穂粒数 (粒)	㎡当り粒数 (粒/㎡)	9月3日 登熟歩合 (%)	9月10日 登熟歩合 (%)
本年	8月9日	12.6	494	68.2	33,700	56.3	—
前年	8月10日	12.9	477	70.4	33,600	29.5	60.7
平年	8月10日	12.8	474	72.3	34,100	42.9	73.5
平年比	-1	-0.2	104	94	99	+13.4	—
指標	8月14日	13.0	440	70	31,000	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">                     積算気温H30 621℃ (//平年592℃)                 </div>	
指標比	-4日	-0.4	112	97	109		

### ◇品質・食味を高める乾燥

乾燥機に張り込む前に立毛胴割や損傷粒や脱ぶ粒が多いと判断した場合は、通常の送風温度より5～10℃低めの送風を行い、毎時乾減率を0.6%以下とし、胴割粒の増加を防ぎましょう。

### ◇出荷基準の再確認

表3 「つや姫」出荷基準

項目	水準	確認方法
玄米粗タンパク質含有率	出荷基準:6.4%以下(水分15%換算)	食味分析計により確認


注) 水分15%換算6.4%は、乾物換算の7.5%です。

出荷基準に適合する「つや姫」は、農産物検査の品位格付け1等級及び2等級です。

「つや姫」は、玄米粗タンパク質含有率による出荷基準(表3)があり、この基準に当てはまらない米は「つや姫」として出荷できません。部分的に葉色が濃いなど、玄米粗タンパク質含有率に不安がある場合は、自主仕分けを行いましょ。また、出荷前の玄米粗タンパク質含有率の測定を行い、出荷基準内のタンパク値であることを確認してから出荷しましょ。

### ◇チェックリストの整理・提出

今年の生育を振り返り、次年度につなげるために「つや姫食味向上栽培チェックリスト」を記入しましょ。収量、等級、玄米粗タンパク質含有率が確定したら、記入もれ項目がないか確認して提出してください。なお、提出先は、農業技術普及課またはJAです。



★★ 農作業事故に注意しましょ ★★

刈取作業は無理のない計画でゆとりを持って!

